

令和6年 月 日

吉野川市教育委員会 様

鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会

鴨島東部地区における小中学校のあり方に関する提言書【案】

令和6年7月12日に吉野川市教育委員会から依頼を受けた次の項目について、当委員会の検討経過を添えて以下のとおり提言する。

- (1) 今後の児童生徒数の状況、地理的条件等を踏まえた学校再編の是非について
- (2) その他望ましい教育環境の実現に向けて必要と認められる事項について

1 提言

- ・鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとって望ましい教育環境を早急に実現すること。
- ・牛島小学校及び森山小学校は、直ちに学校再編の必要性はないが、今後の児童数の推移を注視していくこと。

2 提言の理由

(1) 鴨島東部地区における小中学校の現状と課題

鴨島東部地区における小中学校の現状は、少子化の進行等により、児童生徒数や学級数の減少など、学校における学習活動のみならず、部活動などの集団活動を行う上での課題が生じている。

鴨島東中学校の生徒数は、令和6年度の120人に対して、令和18年度には約半数の63人に減少すると推計されている。また、生徒数の減少に伴い、学級数についても令和5年度に1学年が単学級となったが、令和9年度には3学年とも単学級となる見込みであり、学校運営にも支障が生じ始めている。この傾向は、今後更に加速することが予想され、生徒にとって望ましい教育環境を実現するためには、早急に改善を図る必要がある。

また、教員の配置定数は、学級数に応じて定められているため、現状では専任の教員が配置できない教科は、免許外指導により対応している。今後、更に

学級数が減少した場合は、免許外指導を行う教科が増えることとなり、生徒に確かな学力を身につけさせることができにくくなるなど、教育の質の低下が懸念される。

さらに、部活動においても、資料3のとおり、部員不足により一部の種目では募集停止となるなど、生徒が希望する部活動がなかったり、合同チームでの大会参加を余儀なくされたりしている状況である。

中学校では、学習や部活動等の諸活動における一定規模の集団の中で切磋琢磨することを通じて、思考力や判断力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせることが重要である。しかしながら、鴨島東中学校の現状を鑑みると、将来にわたって適正な学校規模を維持できるとは言い難く、生徒にとって望ましい教育環境を実現するためには、鴨島第一中学校と統合し、安定した学校運営を行うことが望ましい。

一方、牛島小学校及び森山小学校については、資料1のとおり、児童数の推計が可能な当面の間は、複式学級になることなく、現状の学校運営を継続できる見込みであることから、直ちに学校再編を行う必要性はないと考える。しかしながら、児童数が減少傾向にあることに変わりはないため、今後の推移を注視していく必要がある。

(2) 再編に関するメリット・デメリット

鴨島東中学校がそのまま存続した場合及び鴨島第一中学校と統合した場合の双方において、それぞれにメリット・デメリットが考えられる(資料2)。

まず、鴨島東中学校がそのまま存続した場合においては、「学習面においてきめ細やかな指導を行うことができる」、「生徒同士・教員同士・生徒と教員の人間関係、意思疎通や連携の点において、コミュニケーションがとりやすい」などのメリットがある一方で、「集団活動への制約」、「教員の配置数減」、「切磋琢磨する機会の減少」、「部活動の選択肢の減少」、「人間関係の固定化」などがデメリットとしてあげられる。

一方、鴨島第一中学校と統合した場合においては、鴨島東中学校がそのまま存続した場合のデメリットが解消されることがメリットとしてあげられることに対し、デメリットとしては、「個々のきめ細やかな指導が図られにくくなる」ほか、「通学距離が長くなる」などがあげられる。

(3) 望ましい教育環境

中学校での3年間は、将来を見据えた人間形成を図る上で極めて重要な時期であり、この時期に望ましい教育環境の中で教育を受けることが、その後の人生を左右する大きな分岐点になる。そのため、多様な考えや価値観に触れながら豊かに学習し、より多くの仲間と認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、協働的な学びを充実させるとともに、一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特性を踏まえ、中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考える。

文部科学省は、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」において、中学校における望ましい学級数の考え方について、全学年でのクラス替えや学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となるとしている。また、すべての授業で教科担任による学習指導を行うためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいとしている。

これらを踏まえ、鴨島地区の出生数等を鑑みれば、今後生徒数の減少傾向は続くものの、同地区全体では1学年3学級以上の規模が確保できる見込みであることから、鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合においては、適正な学校規模を確保できると考えられる。

（4）保護者の意識

令和5年度に教育委員会事務局において実施した中学生以下の子どもを持つ保護者に対するアンケートによると、約55パーセントが鴨島東中学校の統合再編に肯定的な意見であり、さらに通学支援の条件を満たした場合は、約75パーセントが肯定的な意見となっている。

統合再編に肯定的な意見の主な内容としては、「生徒数が減少するので、統合には賛成」、「クラス替えをして、多くの友達を作ってほしい」などがあげられている。

一方、統合再編する場合の不安や課題について、8割を超える方が「通学距離や通学時間」をあげており、その対策として、多くの方がスクールバスによる支援を望んでいる。

また、統合を望む保護者の方からは、早期の決断・統合を求める声も多く見受けられる。

3 統合に当たっての留意事項

（1）学校運営の円滑な移行

統合する場合においては、生徒たちの新しい学校生活が順調にスタートできるよう、入念な準備を行うとともに、学校や地域の特性が異なる生徒同士が合流することで生じる新しい環境へのストレスを少しでも緩和できるよう、統合後を見据えた学校間の交流を行うなど、特段の配慮が必要と考える。

また、統合を進めていく上では、保護者等の理解を得る必要があることから、今後においては、両校の関係者だけでなく、小学校の保護者、学校・地域関係者等による準備組織を設け、通学方法等の統合に係る必要事項について調査研究及び協議を行うとともに、保護者等への説明及び意見聴取を図る必要がある。

(2) 統合時期

鴨島東部地区においては、令和5年度から鴨島東中学校の1学年が単学級となったことを契機に、地域説明会や保護者及び児童生徒へのアンケートが実施されているが、学校再編に関する議論が進むにつれ、中学校の進学先に悩んでいる保護者や児童が見受けられている。

このような状況を踏まえ、できるだけ早期に具体的な方向性を示し、統合することが望ましい。

(3) 通学体制

令和5年度に実施した地域説明会及びアンケートにおいても、通学距離及び通学時間並びに通学路の安全面についての不安が多く寄せられている。

統合後においては、資料4に示すとおり、鴨島第一中学校から最も遠い地域では、約6.5キロメートルの通学距離となり、文部科学省が定める適正基準を超えることとなる。

したがって、統合により通学の負担が著しく増える生徒に対しては、適切な支援を行う必要がある。

また、統合による新たな通学路の安全対策について、関係機関と連携し、必要な措置を講じる必要がある。

4 当委員会の協議経緯及び意見

(1) 協議経緯

開催年月日	内容
【第1回】 令和6年7月12日	・児童生徒数及び学級数の推移について ・地域説明会及びアンケート結果について
【第2回】 令和6年9月26日	・再編に関しての具体的なメリット・デメリットの検証について ・通学距離の問題及び通学支援の必要性について
【第3回】 令和6年10月28日	・提言書（案）の検討について
【第4回】 令和6年11月 日	・提言書の取りまとめについて

(2) 委員からの意見

【学校規模】

- ・ 1学級だけでは、デメリットのほうが大きい。
- ・ 1学級では、人間関係が固定化する。クラス替えができることで、その問題が解消されることもある。

【統合の時期及び内容】

- ・ 保護者や児童生徒の不安解消に鑑み、できる限り早期の統合を望む。
- ・ 統合に当たっては、両校の生徒が対等な意識が持てることを第一に考え、これまで両校が培ってきた伝統や取組の継承に十分配慮してほしい。
- ・ 統合の際は、鴨島東中学校の教員が生徒と一緒に異動できるように配慮してほしい。

【通学】

- ・ 通学方法及び通学時間の負担について、適切な支援を行う必要がある。
- ・ 鴨島第一中学校への通学人数が増えることで、学校周辺での渋滞や事故が懸念されるため、登下校の不安解消に努めてほしい。
- ・ 不登校や特別な支援を必要とする生徒について、通学距離が長くなることにより、通学しづらくなならないよう支援を行う必要がある。

【その他】

- ・ 保護者との連携が希薄になることへの対応も考えてほしい。
- ・ 教員が意欲を持って働ける学校を目指してほしい。
- ・ デメリットをすべて解消することは不可能だと思うが、その中で説明や意見聴取の過程を大切に進めていくべきと思う。
- ・ 鴨島東中学校の跡地利用についても併せて検討してほしい。

5 参考資料

【資料1】 学校別児童生徒数及び学級数の推移予測

【資料2】 再編に関する具体的なメリット・デメリット

【資料3】 部活動の状況

【資料4】 通学距離・通学時間の現状と比較

学校別児童生徒数及び学級数の推移予測

(1) 牛島小学校

学年	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
1年	14	1	25	1	27	1	19	1	22	1	18	1	14	1
2年	21	1	14	1	25	1	27	1	19	1	22	1	18	1
3年	22	1	21	1	14	1	25	1	27	1	19	1	22	1
4年	24	1	22	1	21	1	14	1	25	1	27	1	19	1
5年	18	1	24	1	22	1	21	1	14	1	25	1	27	1
6年	22	1	18	1	24	1	22	1	21	1	14	1	25	1
計	121	6	124	6	133	6	128	6	128	6	125	6	125	6

(2) 森山小学校

学年	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
1年	17	1	22	1	14	1	13	1	9	1	10	1	6	1
2年	10	1	17	1	22	1	14	1	13	1	9	1	10	1
3年	20	1	10	1	17	1	22	1	14	1	13	1	9	1
4年	24	1	20	1	10	1	17	1	22	1	14	1	13	1
5年	16	1	24	1	20	1	10	1	17	1	22	1	14	1
6年	21	1	16	1	24	1	20	1	10	1	17	1	22	1
計	108	6	109	6	107	6	96	6	85	6	85	6	74	6

※ 令和6年度の児童数は、令和6年5月1日現在の児童数

※ 令和7年度以降の新入学児童数は、令和6年4月1日現在の住民基本台帳に記載されている0歳～5歳児の人数を校区毎に当てはめて推計。転入転出は考慮していない。

(3) 鴨島東中学校

区分		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計												
進学率 考慮	通常学級生徒数	37	28	41	106	27	37	28	92	24	27	37	88	33	24	27	84	29	33	24	86	21	29	33	83	19	21	29	69
	特別支援学級生徒数	6	4	4	14	7	6	4	17	3	7	6	16	5	3	7	15	4	5	3	12	4	4	5	13	6	4	4	14
	通常学級数	2	1	2	5	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
	1学級当たりの生徒数	18.5	28.0	20.5	21.2	27.0	18.5	28.0	23.0	24.0	27.0	18.5	22.0	33.0	24.0	27.0	28.0	29.0	33.0	24.0	28.7	21.0	29.0	33.0	27.7	19.0	21.0	29.0	23.0
進学率 100%	通常学級生徒数	-	-	-	-	36	-	-	-	31	36	-	-	43	31	36	110	38	43	31	112	27	38	43	108	25	27	38	90
	特別支援学級生徒数	-	-	-	-	7	-	-	-	3	7	-	-	5	3	7	15	4	5	3	12	4	4	5	13	6	4	4	14
	通常学級数	-	-	-	-	2	-	-	-	1	2	-	-	2	1	2	5	2	2	1	5	1	2	2	5	1	1	2	4
	1学級当たりの生徒数	-	-	-	-	18.0	-	-	-	31.0	18.0	-	-	21.5	31.0	18.0	22.0	19.0	21.5	31.0	22.4	27.0	19.0	21.5	21.6	25.0	27.0	19.0	22.5

区分		令和13年度				令和14年度				令和15年度				令和16年度				令和17年度				令和18年度			
		1年	2年	3年	計																				
進学率 考慮	通常学級生徒数	37	19	21	77	32	37	19	88	25	32	37	94	25	25	32	82	22	25	25	72	16	22	25	63
	特別支援学級生徒数	-	6	4	10	-	-	6	6	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0
	通常学級数	2	1	1	4	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
	1学級当たりの生徒数	18.5	19.0	21.0	19.3	32.0	18.5	19.0	22.0	25.0	32.0	18.5	23.5	25.0	25.0	32.0	27.3	22.0	25.0	25.0	24.0	16.0	22.0	25.0	21.0
進学率 100%	通常学級生徒数	47	25	27	99	41	47	25	113	32	41	47	120	31	32	41	104	28	31	32	91	20	28	31	79
	特別支援学級生徒数	-	6	4	10	-	-	6	6	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0
	通常学級数	2	1	1	4	2	2	1	5	1	2	2	5	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3
	1学級当たりの生徒数	23.5	25.0	27.0	24.8	20.5	23.5	25.0	22.6	32.0	20.5	23.5	24.0	31.0	32.0	20.5	26.0	28.0	31.0	32.0	30.3	20.0	28.0	31.0	26.3

※ 令和6年度の生徒数は、令和6年5月1日現在の生徒数

※ 令和7年度以降の新入学生徒数は、令和6年4月1日現在の住民基本台帳に記載されている0歳～11歳児の人数を校区毎に当てはめて推計。転入転出は考慮していない。

(4) 鴨島東中学校と鴨島第一中学校が統合した場合の生徒数

区分		令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度				令和12年度			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計												
進学率 考慮	通常学級生徒数	141	136	158	435	123	141	136	400	118	123	141	382	143	118	123	384	122	143	118	383	115	122	143	380	116	115	122	353
	特別支援学級生徒数	12	12	10	34	16	12	12	40	11	16	12	39	15	11	16	42	16	15	11	42	19	16	15	50	13	19	16	48
	通常学級数	5	4	5	14	4	5	4	13	4	4	5	13	5	4	4	13	4	5	4	13	4	4	5	13	4	4	4	12
	1学級当たりの生徒数	28.2	34.0	31.6	31.1	30.8	28.2	34.0	30.8	29.5	30.8	28.2	29.4	28.6	29.5	30.8	29.5	30.5	28.6	29.5	29.5	28.8	30.5	28.6	29.2	29.0	28.8	30.5	29.4
進学率 100%	通常学級生徒数	-	-	-	-	146	-	-	-	138	146	-	-	168	138	146	452	145	168	138	451	135	145	168	448	135	135	145	415
	特別支援学級生徒数	-	-	-	-	16	-	-	-	11	16	-	-	15	11	16	42	16	15	11	42	19	16	15	50	13	19	16	48
	通常学級数	-	-	-	-	5	-	-	-	4	5	-	-	5	4	5	14	5	5	4	14	4	5	5	14	4	4	5	13
	1学級当たりの生徒数	-	-	-	-	29.2	-	-	-	34.5	29.2	-	-	33.6	34.5	29.2	32.3	29.0	33.6	34.5	32.2	33.8	29.0	33.6	32.0	33.8	33.8	29.0	31.9

区分		令和13年度				令和14年度				令和15年度				令和16年度				令和17年度				令和18年度			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
進学率 考慮	通常学級生徒数	137	116	115	368	107	137	116	360	113	107	137	357	100	113	107	320	99	100	113	312	86	99	100	285
	特別支援学級生徒数	-	13	19	32	-	-	13	13	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0
	通常学級数	4	4	4	12	4	4	4	12	4	4	4	12	3	4	4	11	3	3	4	10	3	3	3	9
	1学級当たりの生徒数	34.3	29.0	28.8	30.7	26.8	34.3	29.0	30.0	28.3	125.0	34.3	29.8	33.3	28.3	26.8	29.1	33.0	33.3	28.3	31.2	28.7	33.0	33.3	31.7
進学率 100%	通常学級生徒数	160	135	135	430	125	160	135	420	131	125	160	416	116	131	125	372	115	116	131	362	99	115	116	330
	特別支援学級生徒数	-	13	19	32	-	-	13	13	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0
	通常学級数	5	4	4	13	4	5	4	13	4	4	5	13	4	4	4	12	4	4	4	12	3	4	4	11
	1学級当たりの生徒数	32.0	33.8	33.8	33.1	31.3	32.0	33.8	32.3	32.8	31.3	32.0	32.0	29.0	32.8	31.3	31.0	28.8	29.0	32.8	30.2	33.0	28.8	29.0	30.0

※ 令和6年度の生徒数は、令和6年5月1日現在の生徒数

※ 令和7年度以降の新入学生徒数は、令和6年4月1日現在の住民基本台帳に記載されている0歳～11歳児の人数を校区毎に当てはめて推計。転入転出は考慮していない。

再編に関する具体的なメリット・デメリット

■鴨島東中学校がそのまま存続した場合に考えられるメリット・デメリット

	学習面	生活面	学校運営面	その他
メ リ ッ ト	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒一人ひとりに対し、理解度や学習進度に応じた<u>きめ細かな指導</u>を行うことができる。 ●少人数であるため、<u>学校行事等で活躍したり、自分の意見や考えを発信する機会</u>が多い。 ●<u>施設や設備、教材や教具を生徒一人ひとりが十分に活用できる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒同士、生徒と教職員との<u>人間関係が緊密</u>になり、コミュニケーションや個々に応じた指導に繋がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員数が少ないため、<u>意思疎通が図られやすい。</u> ●学校全体として<u>体験的な学習や校外学習を機動的に実施</u>することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>保護者や地域の方と連携</u>が図りやすく、地域と密着した学校運営ができる。 ●<u>災害時の避難場所</u>としての役割を担うことができる。
デ メ リ ッ ト	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>集団教育活動に制約</u>が生じ、多様な考え方に触れる機会や多様な学習形態を設ける機会が少ない。 ●<u>配置される教員数が減り</u>、教科の専門教員の配置が難しくなる。 ●<u>切磋琢磨する学習機会</u>が少なく、生徒全体の学習面での伸長が見られにくくなる。 ●<u>部活動の選択肢</u>が少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●クラス替えができないことにより<u>人間関係が固定化</u>する。 ●集団教育活動による<u>一体感や達成感を経験できにくい。</u> ●<u>部活動の選択肢</u>が少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員数の減少により、<u>バランスのとれた教職員配置や教科の専門教員を確保しにくい。</u> ●教科指導や校務分掌において、<u>教員一人当たりの負担が大きくなる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●P T A 活動において、<u>保護者一人当たりの負担が大きくなる。</u>

■鴨島東中学校が鴨島第一中学校と統合した場合に考えられるメリット・デメリット

	学習面	生活面	学校運営面	その他
メリット	<p>●競争環境が生まれ、<u>切磋琢磨する機会</u>が増えることにより、学習への意欲が向上する。</p> <p>●協働的な学習など<u>集団教育活動が行いやすくなり</u>、多様な学習形態で学習に取り組める。</p> <p>●<u>教職員数が確保</u>され、バランスのとれた教職員配置や専門性を発揮した強化指導が可能となる。</p> <p>●<u>より多様な部活動の設置が可能</u>となり、選択肢が増え、活動内容も充実する。</p>	<p>●生徒数が増えることで<u>人間関係が広がり</u>、多様な考えに触れ、社会性や協調性が育成される。</p> <p>●<u>クラス替えが可能</u>となり、多様な人間関係を築くことができる。</p> <p>●<u>部活動の選択肢が増え</u>、希望する部活動が経験できる。</p>	<p>●<u>各教科の免許を持つ教員を配置しやすく</u>、教員数が増えることにより教員一人当たりの負担が軽減される。</p> <p>●<u>クラス替えができ</u>、友人が増えたり、人間関係に配慮した学級編成ができる。</p> <p>●<u>部活動の選択肢が増え</u>、生徒が望む部活ができやすくなる。</p>	<p>●P T A活動における学校行事等の<u>保護者一人当たりの負担が小さくなる</u>。</p> <p>●<u>鴨島町への地域理解や郷土愛</u>が育まれる。</p> <p>●修学旅行等の活動に係る<u>生徒一人当たりの負担が小さくなる</u>。</p>
デメリット	<p>●生徒一人ひとりに目が届きにくく、<u>きめ細かな指導が行いにくくなる</u>。</p>	<p>●<u>通学距離が長くなり</u>、安全面での不安や生徒・保護者の負担が増す。</p> <p>●生徒一人ひとりに目が届きにくくなり、<u>個々に適した指導が図られにくくなる</u>。</p>	<p>●<u>通学距離の延長と通学路の安全確保</u>への対策が必要となる。</p> <p>●<u>学校の施設や設備の利用時間等の調整が必要</u>となるため、増設や活用の工夫をしなければならない。</p>	<p>●<u>保護者や地域との連携</u>が図りにくい。</p> <p>●統合後の<u>鴨島東中学校を有効活用</u>できるよう計画が必要である。</p>

部活動の状況

(1) 鴨島東中学校

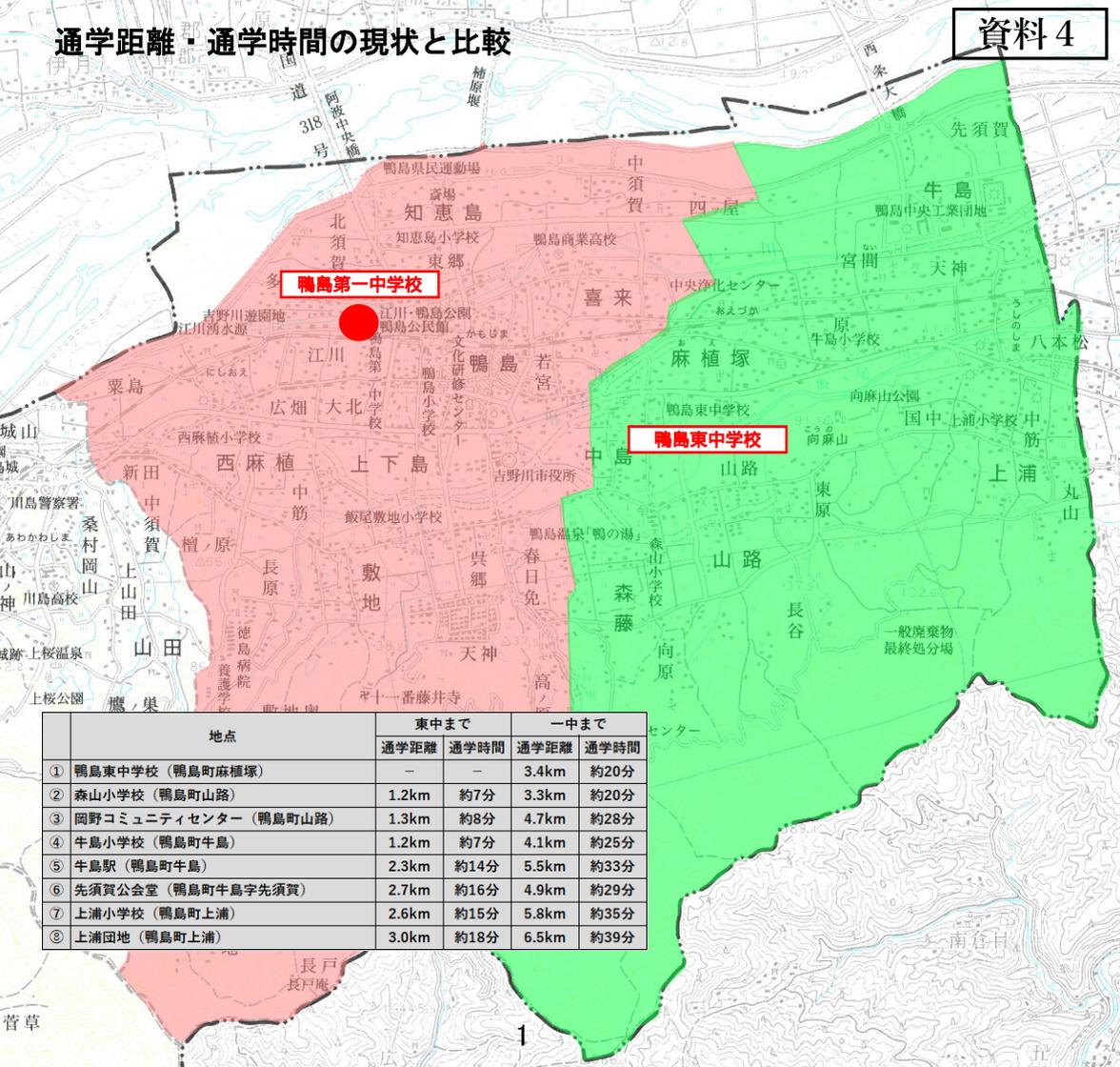
部活動名	人数		
	1年	2年	合計
1 軟式野球（他の中学校との合同チームの可能性あり）	4	0	4
2 サッカー（他の中学校との合同チーム）	4	3	7
3 ソフトテニス（男子）	6	4	10
4 ソフトテニス（女子）	5	0	5
5 バレーボール（女子）	3	4	7
6 バスケットボール（男子）	4	2	6
7 吹奏楽	5	6	11
8 芸術	6	1	7
卓球部（男子）※令和6年度から募集停止			
合 計	37	20	57

(2) 鴨島第一中学校

部活動名	人数		
	1年	2年	合計
1 軟式野球	5	8	13
2 サッカー	8	9	17
3 ソフトテニス（男子）	11	3	14
4 ソフトテニス（女子）	4	5	9
5 バレーボール（女子）	4	6	10
6 バスケットボール（男子）	3	7	10
7 ウインドオーケストラ	12	4	16
8 美術	19	13	32
9 陸上競技	16	10	26
10 バレーボール（男子）（拠点校方式）	2	1	3
11 バスケットボール（女子）	5	13	18
12 卓球（男子）	6	9	15
13 卓球（女子）	3	3	6
14 剣道（男子）	2	2	4
15 剣道（女子）	1	0	1
16 社会体育	5	13	18
17 ボランティア活動	0	0	0
合 計	106	106	212

通学距離・通学時間の現状と比較

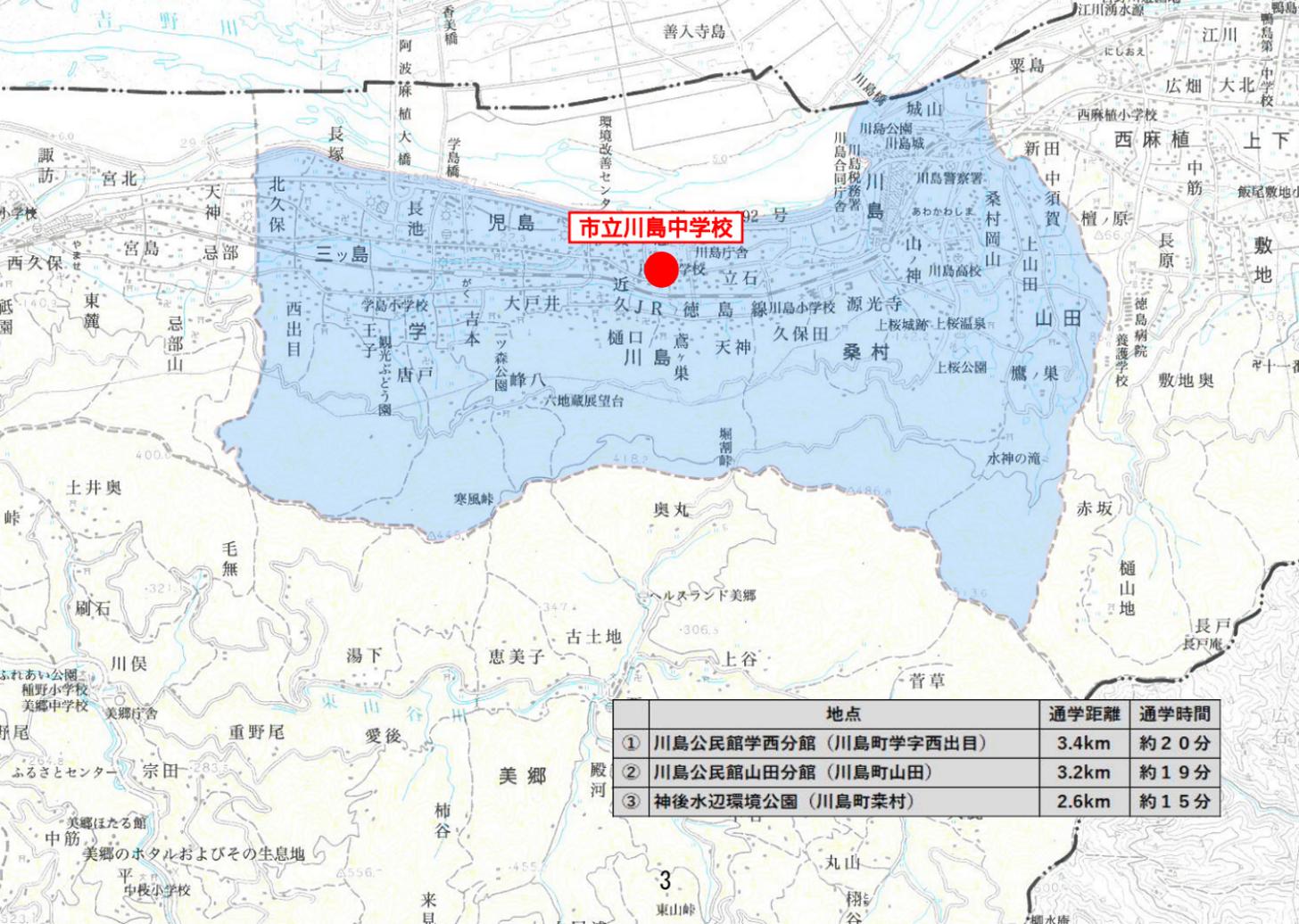
資料4



鴨島第一中学校

鴨島東中学校

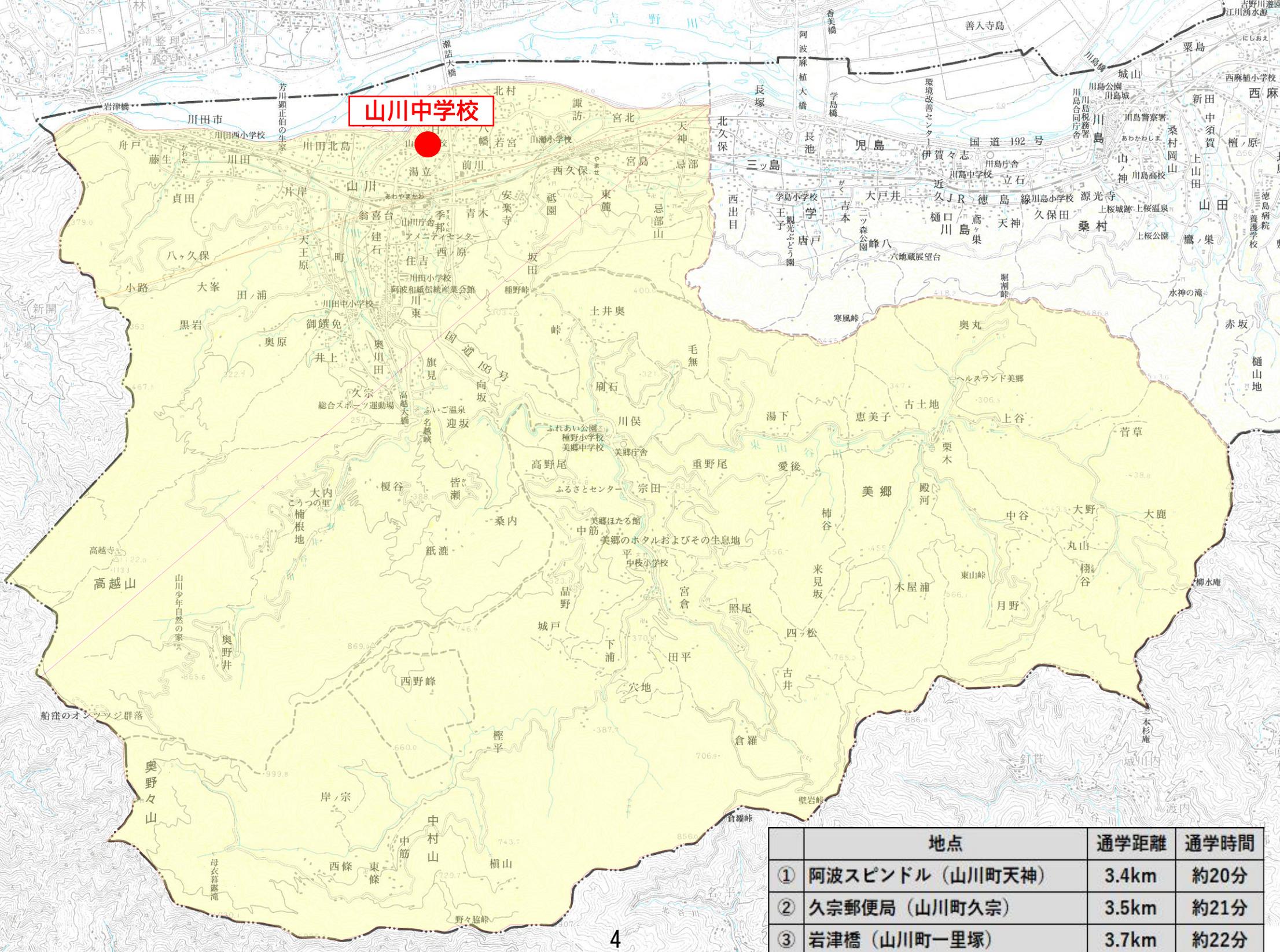
地点	東中まで		一中まで	
	通学距離	通学時間	通学距離	通学時間
① 鴨島東中学校 (鴨島町麻植塚)	—	—	3.4km	約20分
② 森山小学校 (鴨島町山路)	1.2km	約7分	3.3km	約20分
③ 岡野コミュニティセンター (鴨島町山路)	1.3km	約8分	4.7km	約28分
④ 牛島小学校 (鴨島町牛島)	1.2km	約7分	4.1km	約25分
⑤ 牛島駅 (鴨島町牛島)	2.3km	約14分	5.5km	約33分
⑥ 先須賀公会堂 (鴨島町牛島先須賀)	2.7km	約16分	4.9km	約29分
⑦ 上浦小学校 (鴨島町上浦)	2.6km	約15分	5.8km	約35分
⑧ 上浦団地 (鴨島町上浦)	3.0km	約18分	6.5km	約39分



市立川島中学校

	地点	通学距離	通学時間
①	川島公民館学西分館 (川島町学字西出目)	3.4km	約20分
②	川島公民館山田分館 (川島町山田)	3.2km	約19分
③	神後水辺環境公園 (川島町桑村)	2.6km	約15分

山川中学校



	地点	通学距離	通学時間
①	阿波スピンドル (山川町天神)	3.4km	約20分
②	久宗郵便局 (山川町久宗)	3.5km	約21分
③	岩津橋 (山川町一里塚)	3.7km	約22分